

平成30年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
34103	児童サービス論 Library Services for Children	江良 友子	専門	2	選択	1・2年 前期
<b>科目の概要</b>						
図書館における児童サービスについてその歴史や重要性を知り、理論的、実践的に理解する。 児童サービスに関連する法律を知り、読書の役割、年齢層別サービス、各種児童資料、サービスの実際などについて学ぶ。 児童サービスを学ぶ中で、真心・努力・感謝の精神をもって人と接することが必要性であることを学ぶ。						
<b>学修内容</b>			<b>到達目標</b>			
① 読書の役割が各発達段階で異なることを学習する ② 年齢別サービスの違いを学習する ③ 児童用資料について学習する ④ おはなし会を行うために必要な読み聞かせの基本、選書、おはなし会の企画方法、実施後の反省会の必要性について実践的に学習する ⑤ 学校、その他の施設との連携について学習する			① 発達段階別読書の重要性を理解することができる ② 年齢層毎のサービスの違いについて理解することができる ③ 児童用資料にはどのようなものがあるか知ることができる ④ おはなし会を企画する力をつけ、絵本の読み聞かせができる ⑤ 学校連携を中心に連携事業にはどのようなものがあるかを知り、それぞれの重要性について理解することができる			
<b>学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素</b>		<b>学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例</b>				
前に踏み出す力	主体性	読み聞かせが上手くできるように自主的に練習することができる。				
	働きかけ力					
	実行力	期日までにおはなし会企画が提出できるように、手順や方法を考えることができる。				
考え抜く力	課題発見力	読み聞かせ上達のために、図書館で開催されるおはなし会に参加して、上達方法を考えることができる。				
	計画力					
	創造力	YA世代向けに言葉にこだわったPOP作成ができる。				
チームで働く力	発信力	グループで力を合わせて30分のおはなし会を企画・実施・反省することができる。				
	傾聴力	グループワークで人の意見に耳を傾けると同時に、自分の意見も含めた意見集約ができる。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	学生としてではなく、社会人として通用する言葉遣いと行動(授業中におしゃべりしない、遅刻しない、忘れ物をしない、提出物を期限内に提出する、授業中に携帯を触らない等)ができる。				
	ストレスコントロール力					
<b>テキスト及び参考文献</b>						
テキスト:『図書館情報学基礎資料』2016年 今まど子・小山憲司 編著、樹村房 1,080円 講義用レジュメおよび追加資料、読書ノート用紙は配付する。必要に応じて教材として視聴覚資料を使用する。 参考文献:『ベーシック絵本入門』2013年 生田美秋 [ほか]著 ミネルヴァ書房 2,592円 その他の参考文献は、授業の中で紹介する。						
<b>他科目との関連、資格との関連</b>						
他科目との関連:図書館に関する科目全て 資格との関連:図書館司書						
<b>学修上の助言</b>			<b>受講生とのルール</b>			
子どもを知り、資料を知り、これら2つを結びつける仕事が児童図書館員の仕事であることを授業や自己の学びを通じて理解すること。 絵本や児童図書をできるだけたくさん読む(卒業までに1000冊を目標とする)。 身近な図書館を訪問し、おはなし会を見学するなど、常にサービスの現場に足を運ぶこと。			遅刻・早退は、3回で1回分の欠席とする。 6回以上の欠席は0(放棄)判定となる。 欠席した場合は、次回授業日前までに、欠席分の配布資料を取りに来ること。 グループワークは、授業外で打ち合わせをすることが多くなるが、昼休みや空き時間を有効に使って進めること。 レポート作成のため公共図書館で開催されるおはなし会へ参加する場合の交通費等は、自己負担となる。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
筆記試験				
小テスト				
レポート	40	①	✓	<p>課題①「公共図書館で行われるおはなし会について」1000字以上(20点) 公共図書館へ行き、おはなし会に参加して、レポート作成する。 (詳細な記述事項については、授業の中で指示する)</p> <p>課題②「図書館の学校連携について」2000字以上(20点) 公共図書館と学校図書館の連携とはどのようなものか。学校図書館連携を活発に行っている公共図書館を調べ、その内容等についてレポート作成する。</p> <p>評価のポイント (表記・表現等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・字数制限が正しく守られている。</li> <li>・口語やくだけた表現を使用せず、正しい文章表現と漢字を用いている。</li> <li>・「です・ます調」ではなく、「だ・である調」を用いている。</li> <li>・段落ははじめの1字下げなど、基本的なルールを守っている。</li> <li>・情報源は、信頼のおける適切なものを使用している(引用・参考文献)を記載できている。</li> </ul> <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマに合致した内容となっている。</li> <li>・根拠をもとに、自分の考えを明確に述べている。</li> <li>・自分の述べたいことを、筋道立てて論理的に述べている。</li> <li>・意味の通らない文章がなく、論旨が明快である。</li> <li>・内容に説得力があり、読み手を納得させられる内容である。</li> </ul>
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
成果発表 (口頭・実技)	30	①		<p>グループに分かれ、おはなし会を企画・実施・反省会をおこなう。提出物は期日までに提出すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おはなし会企画書(5点)</li> </ul> <p>発表1週間前の授業までに、指定された「月」や対象年齢に合わせたおはなし会企画書を提出する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おはなし会グループ発表(20点)</li> </ul> <p>30分間の構成を考え、手遊び、絵本、大型絵本、紙芝居などを取り入れたおはなし会を実演する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おはなし会反省会資料(5点)</li> </ul> <p>おはなし会を実施した翌週の授業までに反省会用紙を提出する。</p>
		②		
		③	✓	
		④	✓	
		⑤		
作品	20	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書ノート:毎日1冊以上本を読み、読書ノートを記入する(10点)</li> <li>毎日、絵本や児童書を1冊以上読み、読書ノートに記入する(約100日間)。</li> <li>・POP作成(10点)</li> </ul> <p>(発信力) YA世代が求める資料とはどのようなものか考え、YA世代向けの本を1冊読み、POPを作成することができる。</p>
		②	✓	
		③	✓	
		④		
		⑤		
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	<p>(主体性) 自主的に読み聞かせの練習ができる。</p> <p>(実行力) 手順や方法を考えておはなし会企画を進めることができる。</p> <p>(課題発見力) 情報入手・判断・整理し、課題を見極めることができる。</p> <p>(創造力) 固定概念に捉われないこと、様々な角度から物事を考えて判断することができる。</p> <p>(傾聴力) 人の意見に耳を傾けるとともに自分の意見を述べるができる。</p> <p>(規律性) 期日までに提出物を出すことができる。</p> <p>※上記の7項目は、主体性を特に重視し、全体を通して総合的に評価する・・・10点</p>
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
その他				
総合評価割合	100		レポート、成果発表、作品、学修態度の成績を総合して評価する。	

【到達目標の基準】

到達レベル S(秀)及び A(優)の基準	到達レベル B(良)及び C(可)の基準
<p>S(秀)評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2回のレポートに指定した必要事項が盛り込まれており、評価がいずれも9割以上獲得できている。</li> <li>・グループでのおはなし会の企画書・反省会用紙が期日までに提出され、季節感、対象年齢が加味され、まとまった内容となっている。</li> <li>・おはなし会の実演に元気があり、聞き手を意識して読み聞かせされており、30分間で終了することができている。</li> <li>・作成したPOPは、YA世代を対象とした本を選書しており、作成する上で工夫や若者の言葉遣い意識されており、「読みたい」という気持ちにさせる作品となっている。</li> </ul> <p>学修態度にある7項目が達成できている。</p> <p>A(優)評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2回のレポートに指定した必要事項が盛り込まれており、評価がいずれも8割以上獲得できている。</li> <li>・グループでのおはなし会の企画書・反省会用紙が期日までに提出され、まとまった内容となっている。</li> <li>・おはなし会の実演に元気があり、読み聞かせがスムーズにできている。</li> <li>・POPは、YA世代を対象とした本が選書されており、若者の言葉遣いが意識され、作成に工夫が見られる。</li> </ul> <p>学修態度にある7項目のうち6項目以上が達成できている。</p>	<p>B(良)評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2回のレポートに指定した必要事項が盛り込まれており、評価がいずれも7割以上獲得できている。</li> <li>・グループのおはなし会企画書・反省会用紙が期日までに提出されている。</li> <li>・おはなし会の実演に元気がある。</li> <li>・作成したPOPは、YA世代を対象とした本を選書しており、作成する上で工夫がなされている。</li> </ul> <p>学修態度にある7項目のうち5項目以上が達成できている。</p> <p>C(可)評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2回のレポートに指定した必要事項が盛り込まれており、評価がいずれも6割以上獲得できている。</li> <li>・グループのおはなし会企画書・反省会用紙が提出されている。</li> <li>・おはなし会の実演ができている。</li> <li>・POPを提出できている。</li> </ul> <p>学修態度にある7項目のうち4項目以上が達成できている或は、達成までには至らないがよく努力している。</p>



週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	オリエンテーション 図書館利用者としての乳幼児～ ヤングアダルトについて学ぶ	講義 第1回レポート課題出	公共図書館における児童 サービス対象について知 る	(予習) 自分が好きな絵本につ いて、その本を初めて知 った時期・理由を話せる 様にする(当日持参する こと) (その他) 絵本を読んで、読書ノー トに記入する	180	発信力 傾聴力 規律性
2週 /	児童サービスの意義と役割 児童サービスは子どもにとってな ぜ必要なのかを学ぶ 第1回レポート説明	講義 DVD視聴 『ブックスタート しあ わせを広げる、愛情こと ば。』2013 NPOブ ックスタート	児童サービスの意義と役 割を知る ブックスタートの起源・内 容・先進的自治体を知る 作成するレポート内容につ いて理解する	(復習) 配布資料で児童サービ スの意義・役割を理解す る。授業の中で紹介した 参考図書を読む。 (その他) 絵本を読んで、読書ノー トに記入する	180	課題発 見力 主体性
3週 /	児童サービスの歴史と現状 イギリス、アメリカ、そして日本の 児童サービスの歴史と現状につ いて学ぶ	講義 実演	イギリス、アメリカ、日本の 児童サービスの歴史と現 状の理解	(復習) 配布資料で児童サービ スの歴史と現状を確認 する。授業の中で紹介し た参考図書の中から1 冊以上目を通す。 (その他) 絵本を読んで、読書ノー トに記入する	180	課題発 見力 傾聴 力 主体性
4週 /	児童資料について ① 児童資料の特色・種類・選択・評 価・収集について学ぶ	講義 実演	児童資料の特色・種類・選 択・評価・収集について知 る	(復習) 授業の中で紹介した児 童資料に目を通す (その他) 絵本を読んで、読書ノー トに記入する	180	課題発 見力 傾聴力 主体性
5週 /	児童資料について ② 絵本の特色・種類・選択・評価・ 収集について学ぶ	講義 実演	絵本の特徴についての理 解する	(復習) 授業の中で紹介した絵 本を図書館で確認する (その他) 絵本を読んで、読書ノー トに記入する	180	課題発 見力 傾聴力 主体性
6週 /	児童資料について ③ 物語、伝承文学、知識の本の特 色・種類・選択・評価・収集につ いて学ぶ	講義 実演 第1回レポート課題提 出	おはなし会のポート提出 物語、伝承文学、知識の 本の特徴を理解する	(予習) おはなし会のレポート作 成 復習 授業の中で紹介した本 を図書館で確認する (その他) 絵本を読んで、読書ノー トに記入する	180	課題発 見力 傾聴力 規律性
7週 /	おはなし会の企画の方法と読み 聞かせの仕方を学ぶ	第1回レポート課題の フィードバック 講義 グループワーク	おはなし会企画の方法を 理解する グループで企画書作成準 備ができる	(復習) おはなし会企画書を作 成する (その他) 絵本を読んで、読書ノー トに記入する グループ及び各自で読 み聞かせ練習	180	主体性 実行力 傾聴力
8週 /	その他の資料 エプロンシアターとパネルシアタ ーの選択と使い方 POPの作り方	講義 実践 おはなし会企画書提 出	エプロンシアターとパネル シアターの特徴と使い方を 知る	(その他) POP作成 絵本を読んで、読書ノー トに記入する グループ及び各自で読 み聞かせ練習	180	課題発 見力 創造力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	児童サービスの種類 ① 閲覧・貸出・レファレンス・読書相談について学ぶ	講義 POP 提出	閲覧・貸出・レファレンス・読書相談の意義と特徴を理解する	(復習) 配布資料で、閲覧・貸出・レファレンス・読書相談について確認する (その他) 絵本を読んで、読書ノートに記入する グループ及び各自で読み聞かせ練習	180	課題発見力 創造力 主体性
10週 /	児童サービスの種類 ② ブックトークとは、どのようなものか学ぶ	講義 DVD視聴 POPについてフィードバック	ブックトークの方法を知る	(復習) 配布資料で、ブックトークの方法について理解を深める (その他) 絵本を読んで、読書ノートに記入する グループ及び各自で読み聞かせ練習	180	課題発見力 創造力 主体性
11週 /	児童サービスの実践① おはなし会の実践と鑑賞	おはなし会の発表	他のグループの発表を鑑賞し、改善点を指摘できる	(復習) おはなし会反省会資料作成する (その他) 絵本を読んで、読書ノートに記入する	180	発信力 傾聴力 主体性
12週 /	児童サービスの実践 ② おはなし会の実践と鑑賞	おはなし会の発表 おはなし会反省会資料第2回レポート課題出題料提出	他のグループの発表を鑑賞し、改善点を指摘できる	(復習) おはなし会反省会資料作成する (その他) 絵本を読んで、読書ノートに記入する	180	発信力 傾聴力 規律性
13週 /	家庭、地域との連携や協力 ブックスタートについて	おはなし会反省会資料提出 講義 DVD視聴	ブックスタートとは何か、言うことができる	(復習) 配布資料を読んで、ブックスタートについて理解を深める (その他) 絵本を読んで、読書ノートに記入する	180	課題発見力 創造力 規律性
14週 /	学習支援と学校図書館との連携 学校図書館支援をする意味について学ぶ	講義 第2回レポート課題提出	学習支援の内容理解と学校図書館について理解する	(復習) 配布資料で、学校図書館を支援する意義について確認する (その他) 絵本を読んで、読書ノートに記入する	180	課題発見力 創造力
15週 /	これからの児童サービスの課題と展望 今後の児童サービスにとって必要なことを学ぶ	講義 DVD視聴 第2回レポート課題についてのフィードバック 読書ノート提出	児童サービスの課題について自分なりの意見を持つことができる	(復習) 今までの授業内容を復習する	180	課題発見力 創造力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力



